

平成 30年 1月 31日

サイエンス・ダイアログ 実施報告書

1. 学校名・担当者氏名: 長野県屋代高等学校 手塚理実 長山耕己
2. 講師氏名: Charlotte RIVAS 博士
3. 同行者氏名: 浦野 泰照 教授
4. 実施日時: 平成 30年 1月 31日 (水) 11:00~12:30
5. 参加生徒: 1年生 37人、 2年生 0人、 3年生 0人 (合計 37人)
備考: 理数科の生徒
6. 講演題目: Medical Imaging: How We Can Use Light to See Inside the Human Body
7. 講演概要: 蛍光物質の歴史や定義から始まり、ガン細胞特有の物質と触れることで蛍光を発する物質の開発の話までしていただいた。途中には身近な蛍光物質(トニックウォーターなど)をブラックライトで光らせたり、酵素と混ぜ合わせることで発光する物質の実演なども織りまぜていただいた。
8. 使用言語: 英語
9. 講演形式:
 - (1) 講演時間 80分 質疑応答時間 10分
 - (2) 講演方法 (例: プロジェクター使用による講演、実験・実習の有無など)
プロジェクターを用いたパワーポイントによる講演、ブラックライトによる蛍光物質の実演
 - (3) 通訳 (例: 同行者によるサポート、外国人研究者本人による日本語説明)
区切りの良いところで重要なポイントを日本語で確認していただき、多くの生徒の助けとなった。
 - (4) 事前学習時使用教材(事前学習を行った場合のみ)
要約とキーワードを数週間前に配布し、学習しておくように促した。
10. その他特筆すべき事項:
特にありませんが、このような機会を無料で提供していただけることは誠に有り難いことです。